

教育課程特例校(英語科)編成の方針を受けて、児童の様子(学校アンケートより)

早田小学校では、1～2 学年は、英語に慣れ親しむことをねらいとし、小学校第 3～6 学年においては、英語を使って自分の思いや考えを伝えあう基礎的な力を育てられるよう、外国人講師を招き授業を工夫し取り組んできた。例えば、

1、2 年生は英語の歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりビンゴゲームをして、英語の音に慣れ親しんだり、英語で会話することへの興味関心を高めた。

3 年生は、10 以上の数の学習や、色や形など習った英語を生かして、スリーヒントクイズを楽しんだ。

4 年生は、フルーツパフェを作るために、自分の好きな果物を買に行き活動の中で、英語での会話を楽しんだ。

5 年生は、道案内やレストランでの注文など、教室をその場に見立てて、実用的な対話に挑戦した。

6 年生は、各ユニットの終末にスピーチや対話活動を位置づけ、それに向けて「話せるようになりたい。」「書けるようになりたい。」という願いをもって、表現力、理解力の向上に挑んだ。

英語を使わなければいけない活動、できる限り必然性のある場面を工夫して設定し、楽しみながら取り組むことができる学習を推進した。

保護者へのアンケートには、

「ALT との交流については子供たちも大喜びで参加しています。」という評価をいただいているものの、「コミュニケーション活動が本格的に増えたように感じます。自分から話すことに苦手意識をもつ児童が増えたようでした。」という声もあった。今後も、外国人講師の支援を受けながらコミュニケーションの楽しさを、苦手と感じる児童に寄り添いながら味わわせていきたいと考えている。



来年度は、「身の回りで見つけた、お気に入りのアルファベットの文字を友達に紹介することで、自分をもっと深く知ってもらう活動」や、岐阜市が推奨する「岐阜市を訪れる旅行客に英語で岐阜市を紹介」「清流長良川の鵜飼を楽しむために、知っておくと 10 倍楽しめる豆知識」「メモリアルドームで熱戦を繰り広げる皆さんに、心も体も癒される早田地区のおいしい店の紹介」といった相手意識をもった活動をより充実させて実践していきたい。

R 6 学校関係者評価

令和6年度 学校関係者評価

各評価内容の評価を数字でお答えください。

4：あてはまる 3：だいたいあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない 0：無回答

1 学校の取り組みについて

	評価内容	回答人数					R5	評価
		4	3	2	1	0		
①	お子さんは、楽しく学校へ登校している。	80	42	6	1	0	3.5	3.7
②	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	40	73	14	2	0	3.0	3.3
③	学校は、英語の「聞く・話す・読む・書く」といった英語力を向上しようと取り組んでいる。 ※「聞く・話す」…全学年 「読む・書く」…5, 6年生	29	60	33	8	0	2.9	3.0
④	学校は、子どもの気持ちや悩みを理解するように取り組んでいる。	57	70	2	1	0	3.3	3.5
⑤	学校は、いじめの問題を最優先の課題として、未然防止を含めて、職員が連携して取り組んでいる。	56	70	3	0	0	3.3	3.5
⑥	学校は、子どもの体力向上のために運動や健康づくりに取り組んでいる。	57	64	7	1	0	3.3	3.5
⑦	学校は、不審者・事故等の防止・対応に関して対策をとっている。	51	70	7	1	0	3.3	3.4
⑧	教師自らが進んであいさつするなど、丁寧な対応を心がけている。	82	45	2	0	0	3.5	3.7
⑨	学校は、ホームページ・学校・学年通信、スマート連絡帳等で情報発信を行っている。	84	45	0	0	0	3.6	3.8
⑩	学校は、地域の特色や人材を生かす工夫をしている。	79	49	1	0	0	3.4	3.7

2 家庭での様子

	評価内容	回答人数					R4	評価
		4	3	2	1	0		
①	お子さんは、学校や学級での出来事について話している。	49	58	17	5	0	3.2	3.3
②	お子さんは「おはよう」「いただきます」「おやすみ」などのあいさつをしている。	89	33	5	2	0	3.7	3.7
③	早寝早起きを心がけている。	43	67	12	7	0	3.3	3.2

④	テレビやゲーム、携帯端末等の使用のルールを決めている。	28	69	26	6	0	3.2	3.0
⑤	家で、だいたい決まった時間に勉強している。	41	59	22	7	0	3.3	3.1